

軽井沢新聞

6月号

June
2020編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語



編集者

那須 由莉 さん

胸いっぱい思い出とともに
信濃追分駅舎で暮らし 15年

小学5年生のときに父が山荘を建てて以来、追分との関わりは60年以上。いくつもの思い出が心に残っている。夏休みに遊びに来た小学校の学級担任を、父に言われ提灯を持って信濃追分駅まで迎えに行った。「なぜ懐中電灯ではなく提灯」と疑問だったが、「迎ひに行かう 小さい 提灯をつけて…」という詩人・立原道造の手紙を再現した、父の演出だったとあとからわかった。

「立原が好きだった先生はとても喜んでくださったけど、途中で灯が消えちゃった。真っ暗な帰り道が怖かったのを覚えています」

総合出版社「主婦と生活社」を経て、50歳で編集企画会社を設立。「暮しの手帖社」から依頼され2005年、別冊『あたらさん』の編集長に。無人駅となり、荒れ果てていた信濃追分駅の駅舎を借り、編集室にした。

駅舎の活用には「野の花が咲き香る、幼い頃に見た駅に戻りたい」という思いもあった。地元のボランティア「オオヤマ桜を守る会」に入り、軽井沢で育った植物を持ち寄って手入れを続けた。今では春から秋にかけ、野バラやワレモコウなどで彩られる駅に生まれ変わり「その夢だけ

は叶ったなと思っています」。

別冊の休刊後も駅舎を編集事務所として使い、居着いた猫の面倒をみているうち、寝食の場もこちらへ。夫と2人、駅舎暮らしを続けている。

「関西方面へ取材に行った帰り、篠ノ井駅まで来ると、家に着いた気分になるの。もうしなの鉄道が我が家みたいになっている」

70歳を過ぎ「体力があるうちに身の回りの片付けを」と、15年間慣れ親しんだ駅舎を9月に引き払う。その後も東京と行き来しながら、追分の地域活動は継続していく。93歳で亡くなる直前まで一線で働いた、暮しの手帖社の元社長、大橋鎮子さん(1920-2013)を見習い、生涯編集者を貫くつもりだ。

「東日本大震災のあとにお会いしたとき『こんなときこそ出版よ。出版は人を力づけるわよ』って。それを聞いて感動して、もうずっと続けようと思っちゃった」

信濃追分駅舎が建築から100年を迎える2023年には「ささやかでもお祝いしたいですね」。

駅舎がこの先も、来訪者に緑の高原の風を運んでくれることを願っている。

新型コロナウイルスの影響を受けている町内の事業者を元気づけようと、有志による軽井沢応援キャンペーン「遠くに行けない今だから#地元軽井沢を体験してみた」が6月10日から始まった。この機会に町民や別荘民、近隣市町村の人たちに地元・軽井沢の魅力を知ってもらい、利用を促す。飲食店や宿泊、レジャー施設など約70軒がキャンペーンに参加、個々に特典サービスを用意している。発起人の一人で株式会社フイルド・マネジメントの代表・大雲芳

軽井沢応援プロジェクトスタート

遠くに行けない今だから、地元体験を



樹さんは「日頃、ちよつとよそ行きな街と想われている軽井沢。これを機に、地元の方にもっと身近に感じて、利用してもらいたいと、声をかけさせて頂きました」。

参加店舗、受けられるサービスの詳細は本紙4・5面に掲載している。

通常登校始まり、各施設も再開へ 新型コロナウイルス、感染症対策念入りに

新型コロナウイルス感染症拡大防止にともなう緊急事態宣言が5月25日、全都道府県で解除となった。4月11日から臨時休業していた軽井沢プリンスショッピングプラザは6月1日に営業を再開。5月よりは観光客の姿を見かけるようになったが、軽井沢銀座商店会会長できくわん舎の吉田博社長は「いつもの6月の20%ほど。軽井沢ファンのリピーターが、安心して来られるように早くなつてほしい」と切実に話した。

3月2日から休校に入った町立の小中学校は、5月7日からの分散登校(週2日程度)を経て、6月1日から通常登校に切り替わった。軽井沢中



中軽井沢図書館の入館前に入口で検温を受ける女の子。

つた。同3年の塚元萌さんは「今まで通りは難しいけど、今できることを精一杯やって、元の生活に早く戻つたらいいと思います」と話した。

町内の公共施設の多くも6月1日から営業を再開。中軽井沢図書館は出入口を1階のみに制限。スタッフが入館者に検温を行い、「滞在は1時間以内に」と呼びかけていた。長野原町の別荘から訪れた男性は「再開を待っていた」と、6冊を借り帰っていった。

GW前から開場を見合わせていた、軽井沢会テニスコートも6月1日、今季の利用をスタート。プレーできるコートの一つおきに、プレー時間や人数を制限。シャワー室も使用禁止にした。同会テニス部委員の浅石佳克さんは「不安な人でも楽しく安全にプレーできるよう、現時点でできる限りの対策をした」。テニスは東京でプレーした3月以来という60代女性は、「散歩ではかけない汗。気持ちよかった」と充実した表情を見せた。

4月29日から休館していた会員制リゾートホテル、東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢は、5月16日に営業を再開。館内のレストラン「彩」の朝夕のブッフェは休館前からの中止を続け、代わりに和・洋どちらか選べる定食メニューを提供。レストランの担当スタッフは「週末を中心に予約が少しずつ戻ってきている」。ブッフェは7月から再開予定だという。

軽井沢町は、国の特別定額給付金に上乗せする形で、町民一人あたり2万円を支給する補正予算を6月会議に提出。6月5日の本会議で可決され、6月中に支給を始める方針だ。

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

三井のリフォーム 5つの約束

1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はおお客様のご確認をいただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

平成27年5月26日受賞
全国第1位の社長表彰をいただきました。



軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業

リフォーム一筋21年

三井不動産グループ 三井の田リフォーム 軽井沢店 ☎ (0120) 278-321
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42 (営業時間) 9:00~18:00 メール karuizawa@mitsui-reform.com

リフォーム専門店の
私たちにまかせください!!



左から：店長 花里 邦子、店員 中島 祐司、店員 草間 こそ江、店員 秋山 勇

リビングダイニング

キッチン・浴室

寝室・和室・書斎

外観・エクステリア

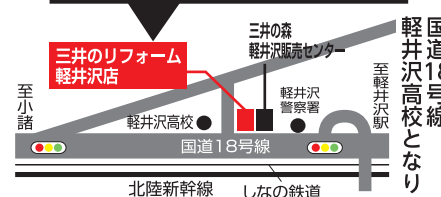
洗面・トイレ

水漏れ・雨漏り

あなた様のご予算に合わせて
ご提案させていただきます。
詳細はお問合せください。

悩んでいないで、まずはお電話ください

見積り無料!!



施工事例多数掲載! 詳しくはWEBでチェック
WEBで検索 三井のリフォーム軽井沢店 検索